

紙版画（台紙版）（凸版）

□主に扱う学年・時間

3～4年 8時間

□版画の特徴

- 切り取った形を台紙に貼って版をつくり、写し取る版画
- 単独版と違い、まわりを意識させることができる
 - ・どこで何をしているか

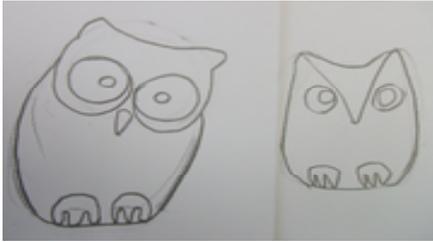


□準備する材料・用具

- ①版をつくる厚手の紙など
画用紙やボール紙
- ②台紙になる厚手のボール紙
ベニヤ板
- ③刷り紙（和紙など絵の具を吸いやすい紙） ④のり ⑤はさみ ⑥中性版画インク
- ⑦バレン ⑧ローラー ⑨インク練り板 ⑩新聞紙 ⑪水性ニス ⑫刷毛
- ⑬手を洗う洗剤 ⑭タオル

□授業のながれ

授業のながれ（子どもの活動）	教師の準備・支援
①紙版画（台紙版）について知る ・台紙版ってなに？	①参考作品鑑賞 ・上級生が刷った版画があれば参考に ・今日作るのは、単独版に周りのようすを加えた版画だよ ・先生が簡単な版で刷ってみる
②下絵を考える ・何を描こうかな 野球をしたよ 遊園地で遊んだよ	②楽しかったことはなんだろう 発表してね ・学校で友達と ・おうちで家族と
③下絵を描く ・描こうとする場面を鉛筆で描く ・あまり細かな部分は描かなくてよい	③下絵は台紙の大きさの紙に描かせる



- ・森の中のフクロウの親子を描いてみよう
- ・まわりはどんな感じにしようかな

④版をつくる

③の下絵を見ながら、各パーツの大きさを考えてボール紙を切る

- ・顔の形をつくる
- ・目をつくる
- ・鼻をつくる

④ボール紙をはさみで切ろう

- ・③の下絵を見ながら自分の顔をつくろう
- ・顔の形 ・髪 ・まゆ ・目 ・目玉
- ・鼻 ・口 ・耳 ・首



他のパーツをつくる

- ・手、腕、胴体、足、靴などをつくる
- ・周りにあるものもつくる

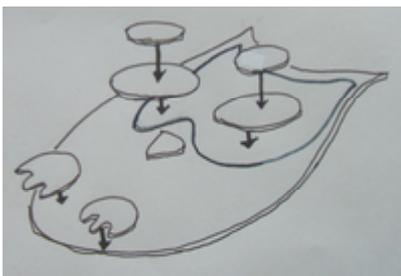
その他のパーツをつくろう

- ・手のひらの大きさ ・腕の長さ・形
- ・胴体の大きさ ・足の長さ ・くつ
- ・腕や足は途中で切らないでつなげて

切ったパーツをなくさないように！小箱やビニール袋などに入れておこう

⑤のりづけをする

- ・切り取ったパーツを台紙の上のにりで貼る
- ・遠くのもの・向こうのものから貼る
- ・貼り付けたら画板などを版の上ののせ、重たいものをのせて押さえておく



- ・森の中のフクロウは段ボールで木の枝を貼ってみよう

⑤新聞紙の上でのりづけしよう

- ・髪、顔、目、鼻、口などのパーツを顔や手足の表情を考えながら貼らせる。
- ・人物は手のうごき、足の動きを考えながら、生き生きとした表現になるように工夫させる
- ・どうやったら走ってる感じになるかな
- ・のりづけは計画的に
周りにある風景→顔→目→目玉
胴体の向こう側の足→胴体→こちらの足

⑥版に水性ニスをめぐる

- ・刷毛で水性ニスを塗る
- ・ニスを乾かす（30分ぐらい）

⑦刷る準備をしよう

- ・机の上に新聞紙を敷く
- ・新聞紙の上にインク練り板を置く
- ・インクをインク練り板の上に出す
- ・ローラーでインクをよく練る

ここからは2人一組がやりやすい

⑧刷り

- ・新聞紙の上に⑥でできた版を置く
- ・ローラーでその上にインクをつける
- ・インクをつけた版の下にきれいな紙を敷く（刷り紙より大きいきれいな紙）
- ・版の上に刷り紙を静かにのせる
二人で ずれないように慎重に
- ・バレンで刷る
刷り紙がずれないように押さえて
バレンは手のひらをつかって
全体に 隅まで 丸く刷る



- ・刷り紙の真ん中に手を置き、刷り紙を半分上げて刷りを確かめる
うまく刷れてるかな
- ・薄いところはローラーでインクを付けてもう一度刷る
- ・さあ 刷り上がり！
慎重に刷り紙を持ち上げて
・・・やったあ 刷れた！

⑨作品を作品置き場に置いて保管

⑩鑑賞会をしよう

⑥刷ったとき版の細かいところが剥がれない

- ようにするために、次の時間までに、先生が版にニスを塗っておきましょう。
- ・もちろん子どもたちがやれば一番！ただアルコールのにおいをいやがるかも・・・

⑦新聞紙を刷り台（机）の上に敷く

- ・中性版画インクを準備する
- ・インク練り板 ・ローラー

⑧刷り紙を準備

- ・版の四方5cm以上大きい刷り紙にする
- ・版の下に敷いたきれいな紙にできるだけあわせるようにのせると、作品が曲がらず刷れる
- ・紙をのせるとき、手はきれいかな

！もう一つの刷り方

プレス機を使って刷る方法もある。
刷りあがりの感じが違うので試していただきたい。（板紙凹版参照）



木が少なかったのでバックにローラーで木をつけたよ

